

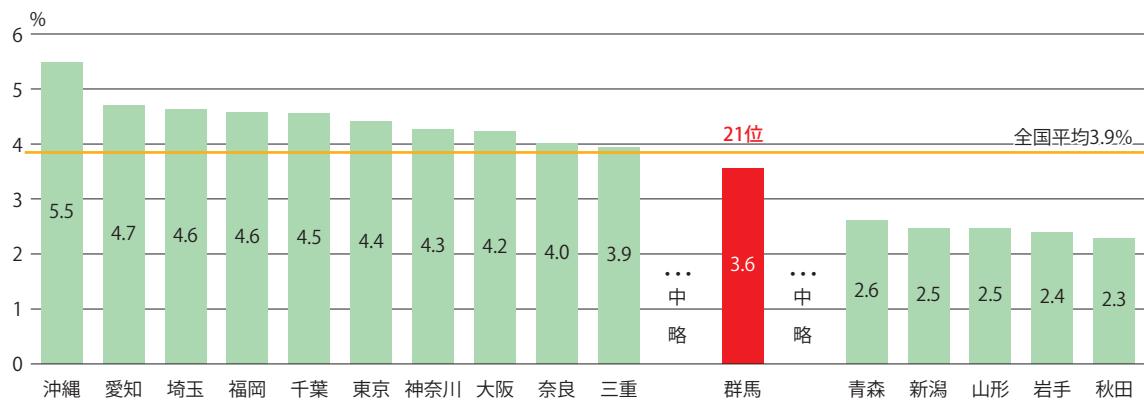
群馬の開業率は全国21位の3.6%

- 起業家による創業は、地域経済を活性化し、雇用を促進させる効果があると考えられる。「開業率」は、創業などにより、どの程度新たな事業所が開業したかを表す指標である。
- 2022年度の群馬の開業率^{*1}は、3.6%で全国21位と、47都道府県のほぼ中位に位置している（図表1）。これまでの推移をみると、ほぼ全国平均と同様の動きとなっている。
- 開業率が高い都道府県をみると、「沖縄」がトップで、人口や事業所が集中する「愛知」「埼玉」「福岡」「千葉」「東京」が続く（図表2）。ちなみに、「沖縄」では、飲食・観光をはじめとしたサービス業での開業が多く、移住を伴う開業も多い。
- 県内では、補助金や伴走型支援など公的な開業促進策のほか、起業を目指す人が事業のアイデアを競うイベント「群馬イノベーションアワード」^{*2}が毎年開催されており、起業家精神を醸成している。今後、群馬での開業の動きが活発化することを期待したい。

図表1 群馬の開業率



図表2 都道府県別の開業率（2022年度）



*1 開業率について

中小企業庁による以下の算式を用いて、当研究所で計算した。

$$\text{開業率} = \frac{\text{当該年度に雇用関係が新規に成立した事業所数}}{\text{前年度末の適用事業所数}} \times 100$$

この計算式では、事業所における雇用関係の成立を「開業」とみなしている。なお、分母の「適用事業所」とは、雇用保険に係る労働保険の保険関係が成立している事業所数を指す。

*2 なお、本年度は「群馬イノベーションアワード2024」（主催：株式会社上毛新聞社、共催：一般財団法人田中仁財団）として、7月16日からエントリー受付開始予定。

資料：厚生労働省「雇用保険事業年報」、「雇用保険事業月報」より当研究所作成

(担当：櫻澤広祥)